昭和六年三月二十八日

"首切絶対反対" "不補充絶対反対"

"即時代表者を選べ"

別紀（二）

檄

全従業員諸君よ聞いて呉れ！ 愈々行制整理（首切）が近日中に迫ったぞ。そこで俺達逓信部会（逓友同志会員と従業員会も皆んな一緒に集った会）を開催してこう云ふ事を決議したんだ。俺達は今迄会が違ふからってお互に、アラや、手落を見つけては角つき合って、いたづらに勢力争ひ見たいな事ばかりやって来てゐた。こう云ふ事を続けて居たのでは何時迄たっても俺達の生活（首切）保証されないんだ、どうしたら保証されるんだ。それにはどうしても逓信も郵便も保険も吏員も、皆んなが一緒に固りにならなきゃ駄目だ同志会とか従業員会とか、別々の行動を取って居たのでは俺達の力と云ふものが分散されて終ふから駄目なのだ

又当局は中立の中をさいて力を分散させ様としてゐるのだ そして少々の不平や不満を押へ付けて居るんだ。誰だって首を切られて喜ぶ奴は居ない 皆んな同じ所へ働いて居る [illegible] ぢゃないか、年功者が首切られる、高給者が首切られるなんて自分さへ切られなきゃいいと云ふやうな事を考へて居たら大間違ひだぞ！ 行政整理（首切）と云ふ奴は一度で済むんじゃない 二段にも三段にも幾らでも押寄せて来るんだぞ！ 毎月汚水たらして働いての給にペコペコ頭を下げて俸を貰って居ても、何時俺達が議会で永久の失業部に放り込まれるか、分らない。取締は首まで保証はしない。何故なら首切りはもっと上の上のお偉方の命令なんだもの そうしてむやみに不補充主義なんて労働強化が今年のブル議会を通過したのを皆んなは知ってゐるだらう。八人でも十人でも首を切って欠員だなっても全然新らしい人を使はないで

俺達が首を切られ大同志の [illegible]